

# 平成22年度 事業報告書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

学校法人熊本城北学園

平成22年度事業報告

## 法人の概要

### 1. 建学の理念

現代の生活者が求めているものは、医療がその原点に立ち返ることである。医療の原点とは、ただ病を治すことだけではなく、生活の中で病をとらえ、生活を通して病を克服し、さらに病にならないような健康な生活をつくりだすこと、そのための全人的援助である。すなわち人々は、医療が施設から出て自分たちの生活の中に入ってきて、その生活を心身共に援助してくれることを待望している。

言うまでもなく、そのような援助の中核となるものは、社会生活への看護福祉であり、それは勝義には保健・医療・福祉活動と称するべきものである。ここに従来の保健・医療と福祉とが出会い、一つの統合的活動となる必然性がある。

九州看護福祉大学の設立は、こうした生活する人々の渴望に呼応して立案されたものであって、その目的は保健・医療・福祉活動についての研究及び人間的知見と能力を有した人材を育てることにある。

本学が設立されるこの地は九州の中域に位し、その教育研究活動が九州全域に翼を広げることのできる最適の地である。したがって、当地は九州の全域から人材を集め、かつ、育成することのできる要所であり、保健・医療・福祉の教育研究が発展し得る拠点となり得るものである。本学は、この地に屹立して我が熊本県城北地域の人々の保健・医療・福祉に貢献し、さらには我が国の保健・医療・福祉活動に新しい方向を示し、ひいては展望を切り開くことを目指すものである。

かくして、本学は、その教育と研究において地域の人々への全人的保健・医療・福祉活動を基盤としながら、九州全域にわたる、さらには我が国の全体にわたる保健・医療・福祉活動をも射程に入れるという目標をもち、これを以て建学の理念とするものである。

### 3つの基本理念

1. 地域とともに成長する大学
2. 生涯にわたって学べる大学
3. 近隣諸国と学ぶ大学

### 5つの教育目標

1. 「こころ」豊かな人間性を培い、個性を尊重する精神を養う
2. 患者並びにクライアントとコ・メディカルスペシャリストとの間の人間関係と信頼性を確保する
3. 論理的・学際的思考力を育成し、適切、かつ、柔軟性に富んだ判断力と分析力を養う
4. 国際的な幅広い視点に立ち、最新の情報収集と情報発信能力を培うとともに、国際感覚の習得と創造的・意欲的な活動力を育成する
5. 保健・医療・福祉に関する最新の知識と技術水準を向上させる

## 2. 設置する法人・学校及び所在地

[ 法人名 ]	学校法人 熊本城北学園
[ 所在地 ]	熊本県玉名市富尾 888 番地
[ 大学名 ]	九州看護福祉大学 (熊本県玉名市富尾 888 番地)

## 3. 沿革

年 月 日	事 項
平成 7 年 2 月	玉名市に大学設立促進室を設置
平成 8 年 3 月	財団法人九州看護福祉大学設立準備財団設立許可
平成 9 年 12 月	学校法人熊本城北学園寄附行為認可及び九州看護福祉大学設置認可
平成 10 年 4 月	九州看護福祉大学看護福祉学部 (看護学科、社会福祉学科) 開学
平成 15 年 4 月	大学院看護福祉学研究科 (修士課程) 看護学専攻を開設
平成 16 年 2 月	クラブ・サークル棟竣工
平成 16 年 4 月	社会福祉学科に介護福祉士養成コースを設置
平成 17 年 4 月	大学院看護福祉学研究科に精神保健学専攻を開設 看護学科に助産師養成課程を設置
平成 18 年 4 月	看護福祉学部のリハビリテーション学科を開設
平成 18 年 9 月	2 号館・食堂棟竣工
平成 18 年 11 月	玉名市と九州看護福祉大学との連携協力に関する協定を締結
平成 19 年 6 月	アメリカ合衆国アイオワ・ウエスタン・コミュニティ・カレッジ (IWCC) と九州看護福祉大学との協力協定を締結
平成 19 年 11 月	専修大学玉名高等学校と九州看護福祉大学における高大連携に関する協定を締結
平成 20 年 4 月	九州看護福祉大学と大韓民国又石大学との短期留学生の受け入れに関する覚書を締結
平成 21 年 2 月	日本看護系大学協議会専門看護師教育課程 (がん看護) に認定
平成 21 年 3 月	玉名女子高等学校と九州看護福祉大学における高大連携に関する協定を締結
平成 22 年 3 月	3 号館・柔道場、教育研究宿泊棟、多目的グラウンドナイター照明・バックネット等竣工
平成 22 年 4 月	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科、口腔保健学科を開設
平成 23 年 1 月	九州看護福祉大学、長洲町社会福祉協議会及び長洲町における地域連携に関する基本協定を締結

#### 4. 大学の組織

(1) 学部・学科等  
看護福祉学部

(平成22年5月1日現在)

看護学科 (定員100名)  
助産師養成課程 (内10名)  
社会福祉学科 (定員110名)  
介護福祉士養成コース (内20名)  
リハビリテーション学科理学療法専攻 (定員60名)  
鍼灸スポーツ学科 (定員40名)  
口腔保健学科 (定員50名)

(2) 大学院  
看護福祉学研究所

看護学専攻 (定員12名) | 基礎看護学分野  
臨床看護学分野  
老年看護学分野  
地域看護学分野  
精神保健学専攻 (定員12名) | 発達精神保健学分野  
社会精神保健学分野

#### 5. 学生数等の状況

(平成22年5月1日現在)

学科等の名称(開設年度)	入学定員	収容定員	平成22年度		在籍者数	平成23年度	
			志願者数	入学者数		志願者数	入学者数
看護福祉学部							
看護学科 (H10)	100	400	890	147	567	936	115
社会福祉学科 (H10)	110	710	207	122	491	244	147
リハビリテーション学科 (H18)	60	240	210	68	308	333	78
鍼灸スポーツ学科 (H22)	40	40	48	37	37	101	62
口腔保健学科 (H22)	50	50	49	34	34	97	50
学部小計	360	1,440	1,404	408	1,437	1,711	452
大学院看護福祉学研究所							
看護学専攻 (H15)	12	24	6	5	23	8	6
精神保健学専攻 (H17)	12	24	9	9	16	3	3
大学院小計	24	48	15	14	39	11	9
合計	385	1,488	1,419	422	1,476	1,722	461

#### 平成22年度入学生の出身県別状況

\* 大検受験者はその他で集計

		九州圏				その他	計
		熊本県	福岡県	その他	計		
入学者	看護学科	37	33	67	137	10	147
	社会福祉学科	49	24	41	114	8	122
	リハビリテーション学科	24	12	29	65	3	68
	鍼灸スポーツ学科	12	10	8	30	7	37
	口腔保健学科	14	11	7	32	2	34
	計	136 (33.3%)	90 (22.1%)	152 (37.3%)	378 (92.6%)	30 (7.4%)	408
志願者	看護学科	286	223	338	847	43	890
	社会福祉学科	92	35	67	194	13	207
	リハビリテーション学科	68	37	90	195	15	210
	鍼灸スポーツ学科	13	14	11	38	10	48
	口腔保健学科	18	16	12	46	3	49
	計	477 (34.0%)	325 (23.1%)	518 (36.9%)	1,320 (94.0%)	84 (6.0%)	1,404

## 6. 役員・教職員の概要等

### (1) 役員・評議員数

(平成23年3月末現在)

[理事長] 二塚 信  
 [理事] 現員14名(定数11~14名)  
 [監事] 現員2名(定数2名)  
 [評議員] 現員31名(定数31~34名)

理事長	二塚 信	評議員	吉光 清
理事・評議員	志賀 潔	評議員	濱田 輝一
理事・評議員	高崎 哲哉	評議員	島崎 剛
理事・評議員	前畑 淳治	評議員	坂梨 豊昭
理事・評議員	前田 <sup>移</sup> 津行	評議員	上田 数吉
理事・評議員	平山 晴章	評議員	中逸 博光
理事・評議員	桑鶴 元昭	評議員	岩田 宣行
理事・評議員	川原 英照	評議員	中野 哲雄
理事・評議員	小篠 健一	評議員	大嶋 壽海
理事・評議員	米満 弘之	評議員	赤木 純児
理事・評議員	原田 正一	評議員	杉谷 卓紀
理事・評議員	高木 義紀	評議員	鴻江 圭子
理事・評議員	佐藤 林正	評議員	森重 康彦
理事・評議員	生野 繁子	評議員	山本 史恵
監事	森 宏	評議員	松本 和子
監事	有働 利昭	評議員	久和 基利
		評議員	福岡 勲

### (2) 教員数

(平成22年度5月1日現在)

	教授	准教授	講師	助教・助手	総数	非常勤講師
看護学科	11	6	5	14	36	
社会福祉学科	9	6	9	3	27	
リハビリテーション学科	4	3	4	2	13	121
鍼灸スポーツ学科	4	2	2	2	10	
口腔保健学科	3	1	3	2	9	
合計	31	18	23	23	95	121

### (3) 職員数

(平成22年度5月1日現在)

事務系	技術技能系	総数
37	2	39

## 事業の概要

### 1. 当該年度の事業の概要

#### (1) 交換留学生事業について

又石大学、アイオワ・ウエスタン・コミュニティ・カレッジ (IWCC) との交流協定に基づき、又石大学より4月から9月末までの半年間に短期留学生1名を受け入れた。またIWCCには9月に10日間の短期研修に6名の派遣を実施した。

#### (2) 女子柔道部の新設について

内柴正人氏をはじめ3名の指導体制、部員10名でスタートし、7月に開催された全日本ジュニア柔道体重別選手権大会九州予選では57kg級で優勝及び準優勝を獲得し、2名の全国大会出場を果たした。また、9月の九州学生体重別選手権大会においても63kg級で3位を獲得し、全国大会出場を果たすことができた。今後さらにトップを狙える選手の育成を目指していく。

#### (3) 平成23年度入試における志願者増に向けての取り組み

##### 入学試験制度の検証

推薦入学試験の出願資格を始め、多岐にわたる入学試験制度の簡素化を図った。また、鍼灸スポーツ学科及び口腔保健学科にセンター試験利用入学試験を始めとする新たな入学試験を適用し、定員の確保に繋げた。

最終的な志願状況として、全ての学科で昨年を上回り、全体で307名の増加、率にして約22%の増加となった。全体の約55%が看護学科の出願であり、看護学科中心の併願構造が続くものの、全ての学科で定員を満たし、全体で452名の入学者となった。

##### 九州全県の高等学校訪問の強化

昨年度に引き続き、九州各県に担当者を配置し、学生募集を目的とした高等学校訪問を精力的に行った。九州・山口全県を中心に、延べ3,257校を訪問し、大学認知度の向上を図りながら入学試験を中心に情報提供を行った。

(平成21年度の高等学校訪問数は3,039校)

##### 大学進学説明会の充実

本学志願者の約57%を占める熊本・福岡を中心に九州全県で受験生対象の大学説明会及び他大学との合同進学相談会等に年間100回程度参加し、約1,500名の参加があった。

また、本学教員による出張講義では、年間34回延べ34名を高等学校へ派遣し、出張講義による本学の教学内容の訴求に努めた。

(平成22年度出張講義の受講者合計は1,167名)

#### (4) 財務計画

本学園の帰属収入の約9割が学生生徒等納付金により賄われていることを考慮すれば、収容定員及び入学定員の未充足は学園運営に多大なる影響を及ぼすこととなる。平成22年度の収入面をみると、5月1日現在の在籍学生数は1,437人と、収容定員の1,440人を若干ではあるが下回る状況となったが、新入生が408人と、入学定員の約1.13倍を確保することができた。外部資金の獲得状況では、私立大学等経常費補助金が約2億4000万円となり、前年度と比して約1.45倍の増額となった。これは、昨年度完成年度を迎えたりハビリテーション学科が、今年度より補助対象となったことが大きな要因である。

平成22年度の決算においては、新学科開設初年度ということもあり、消費収支計算書で3300万円の支出超過額となったが、新学科に係る費用を除いた収支については十分均衡が取れており、新学科の完成年度に向けて継続して学生確保に努め、収支の均衡が図れるよう計画する。

## 2. 継続事業の概要

### (1) 公開講座

大学の教育研究を社会に還元し、地域住民に学習できる機会を提供することは、社会に開かれた大学でありたいと考える本学の重要な指名であり、前期 8 回、後期 8 回に分け 16 回実施し 539 名の受講があった。

平成 22 年度テーマ：暮らしと健康

回	開講日	演 題	講師名
第 1 回	5 月 15 日	おばあちゃんのための孫育て - 今と昔の子育ての違い -	坂井 邦子
第 2 回	5 月 22 日	発達障害という生き方 - 始まった特別支援教育 -	水間 宗幸
第 3 回	5 月 29 日	精神障害者の地域移行支援と専門職のディレンマ - 精神保健福祉士の語りから -	茶屋道拓哉
第 4 回	6 月 5 日	数“楽”のすすめ - 身近な数学の落とし穴 - サビない頭をつくろう!	森 信之
第 5 回	6 月 12 日	社会保障という考え方 - 制度・年金・女性	河谷はるみ
第 6 回	6 月 19 日	高齢社会における居住福祉 - 在来の町屋のバリアフリーから考える -	西島 衛治
第 7 回	6 月 26 日	東洋医学健康講座 - 食育と鍼灸 - (アトピー性皮膚炎に学ぶ)	中井さち子
第 8 回	7 月 3 日	口腔保健の視座	徳永 淳也
第 9 回	10 月 2 日	人生は自分探しの旅 人生を振り返り、各々のこれからの生き様を追求する	姫野 建二
第 10 回	10 月 9 日	家族と向き合う生活 改めて家族を見つめてみましょう -	増田 容子
第 11 回	10 月 16 日	乳がんの基礎知識 あなたの乳房は大丈夫ですか?	川本起久子
第 12 回	10 月 23 日	東洋医学健康講座 - 食育と鍼灸 身体をサビつかせない、抗酸化の力	中井さち子
第 13 回	10 月 30 日	家族でつくろう健康生活	緒方 妙子
第 14 回	11 月 6 日	老いの医学	二塚 信
第 15 回	11 月 13 日	口腔保健の視座 これではっちり! 健口アップ!!	田中千穂子
第 16 回	11 月 20 日	運動と生活 その 3 正しいダイエットしていますか?	二宮 省悟

### (2) 各種講習会等

#### 介護技術講習会

介護福祉士国家試験の実技試験については、平成 17 年度から介護技術講習制度が導入され、同講習の修了認定者については実技試験の免除が受けられることとなった。本学では昨年に続き下記の日程で実施した。

定員及び受講状況

実施日	開催場所	定員	申請者数	受講者数
8 月 28 日、29 日、9 月 4 日、5 日	九州看護福祉大学	40	64	40

### 教員免許更新講習

改正教育職員免許法の成立により、平成 21 年 4 月 1 日から「教員免許更新制」が実施されています。これにより教員免許には更新制となり、更新のための講習を受ける必要があります。本学では下記の選択領域の講習を実施した。

#### 定員及び受講状況

講習科目名	定員	申請者数	受講者数
教諭・養護教諭に必要な学校危機管理能力	50	43	43
特別支援教育と発達障害	50	60	59
子どもの存在と声、その歴史的概観	50	49	48
現代家族が直面する危機の克服	50	58	56
合 計	200	210	206

### (3) 学生表彰

学長賞、理事長賞、功労賞など、学生が行った教育研究活動やサークル活動の中から特に優秀な成績を収めた個人、団体に対し表彰を行った。

区分	氏名・団体
学長賞	(個人) 看護学科 4年 <small>はらやま かずこ</small> 原山 和子
	(個人) 社会福祉学科 4年 <small>くまべ まゆか</small> 熊部 麻由加
	(個人) リハビリテーション学科 4年 <small>くぼやま ゆい</small> 久保山 唯
理事長賞	(団体) 軟式野球部
	(団体) 短艇訓練部
	(団体) ピア・カウンセリングサークル

### 3. 国家試験合格状況、就職状況

18歳人口の減少、看護・社会福祉・リハビリテーション関係学部・学科等が新たに設置される厳しい状況の下、学生を確保し、財政を安定させることが大きな課題である。学生確保のための方策には、大学の存在を示す広報活動はもとより、より良い教育を行うこと、国家試験の合格率を上げること、就職状況を更に改善・向上させることにある。以下に、それぞれの状況を示す。

#### (1) 国家試験合格率

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
看 護 師	89.1	85.6	96.7	93.1	95.6	96.4
保 健 師	56.9	94.5	77.2	91.0	62.2	74.1
助 産 師				100.0	100.0	90.9
社 会 福 祉 士	18.0	22.8	27.1	24.2	29.3	32.2
精神保健福祉士	92.3	84.6	75.0	100.0	85.7	83.3
理 学 療 法 士					100.0	84.1



## (2) 就職率

(%)

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
看護学科	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
社会福祉学科	93.6	95.0	97.5	97.7	98.1	99.2
リハビリテーション学科					100.0	98.1
全体	96.1	97.1	98.5	98.7	99.1	99.3

## . 財務状況

## 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	科 目	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
固定資産	4,884,223	5,864,743	5,650,742	固定負債	128,718	146,263	159,202
有形固定資産	4,139,402	5,088,204	4,835,983	流動負債	578,524	748,514	719,989
その他の固定資産	744,821	776,539	814,759	負債の部合計	707,242	894,777	879,191
流動資産	4,132,468	3,498,482	3,732,867	第 1 号基本金	6,497,587	7,623,925	7,693,322
				第 4 号基本金	111,000	111,000	111,000
				基本金の部合計	6,608,587	7,734,925	7,804,322
				消費収支差額の部合計	1,700,862	733,523	700,096
資産の部合計	9,016,691	9,363,225	9,383,609	負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	9,016,691	9,363,225	9,383,609

## 消費収支計算書

(単位：千円)

消費収入の部	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	消費支出の部	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
学生生徒等納付金	1,701,558	1,655,872	1,714,531	人件費	1,111,508	1,064,633	1,205,444
手数料	34,536	43,784	52,638	教育研究経費	550,555	559,756	644,918
寄付金	4,643	10,849	6,850	(減価償却額)	(209,327)	(194,042)	(245,400)
補助金	157,674	243,493	244,980	管理経費	166,492	214,544	177,818
資産運用収入	21,319	18,202	15,834	(減価償却額)	(31,781)	(29,738)	(33,717)
				資産処分差額	325	948	57
事業収入	3,191	3,968	8,305	徴収不能引当金繰入額 (又は徴収不能額)	0	865	765
雑収入	15,620	23,577	21,834	消費支出の部合計	1,828,880	1,840,746	2,029,002
帰属収入合計	1,938,541	1,999,745	2,064,972	当年度消費収支超過額	86,864	967,339	33,427
基本金組入額合計	22,797	1,126,338	69,397	前年度繰越消費収入超過額	1,613,998	1,700,862	733,523
消費収入の部合計	1,915,744	873,407	1,995,575	翌年度繰越消費収入超過額	1,700,862	733,523	700,096

## 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	支出の部	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
学生生徒等納付金収入	1,701,558	1,655,872	1,714,531	人件費支出	1,008,091	1,047,089	1,192,505
手数料収入	34,536	43,784	52,638	教育研究経費支出	341,053	365,608	381,923
寄付金収入	200	10,019	3,000	管理経費支出	134,511	184,481	143,902
補助金収入	157,674	243,493	244,980	施設関係支出	3,399	977,557	2,335
資産運用収入	21,319	18,202	15,834	設備関係支出	16,131	195,574	20,966
事業収入	3,191	3,968	8,305	資産運用支出	98,000	30,000	17,000
雑収入	15,620	23,577	21,834	その他の支出	60,917	62,183	167,819
前受金収入	499,270	555,091	605,836	資金支出調整勘定	38,613	140,740	56,137
その他の収入	13,453	24,163	30,234				
資金収入調整勘定	540,702	518,235	571,195				
前年度繰越支払資金	3,835,912	4,118,542	3,456,724	次年度繰越支払資金	4,118,542	3,456,724	3,712,408
収入の部合計	5,742,031	6,178,476	5,582,721	支出の部合計	5,742,031	6,178,476	5,582,721